

五中校区スタンダード

— 人権教育を通じて育てたい資質・能力を踏まえて —

第五中学校区

第二小学校

第十小学校



第八小学校

第五中学校

武蔵村山市立第二小学校 武蔵村山市立第八小学校

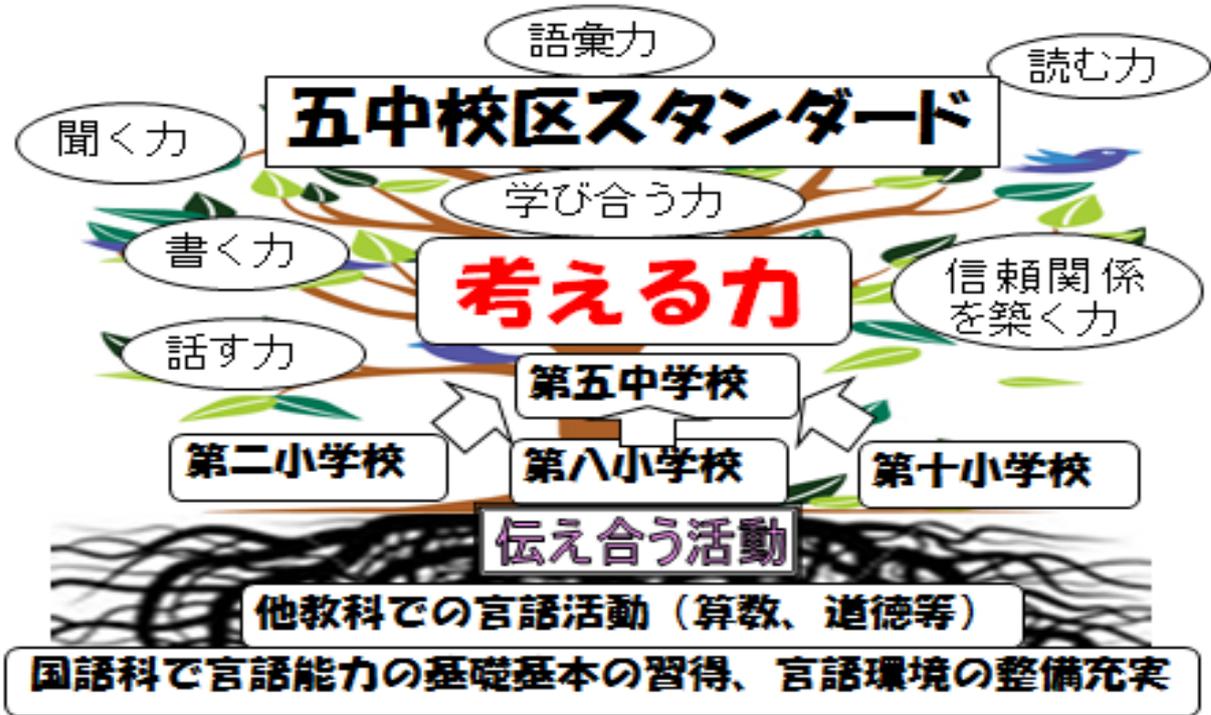
武蔵村山市立第十小学校 武蔵村山市立第五中学校

平成30年2月19日

目 次

構想図・1 国語	P 2
2 社会	P 3
3 算数・数学	P 3
4 理科	P 4
5 音楽	P 4
6 図画工作・美術	P 5
7 保健体育（体育）	P 5
8 保健体育（保健）	P 6
9 技術・家庭	P 6
10 外国語活動・英語	P 7
11 道徳	P 7
12 特別活動・児童会・生徒会	P 8
13 読書活動	P 8
家庭教育7力条	P 9

五中校区研究構想図



1 国語

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔国語〕における 目指す児童・生徒像	②〔国語〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●話題を意識しながら進んで話したり、集中して聞いたりする児童	●「聞く態度」の重視 ○聞き手は、話し手の方を向いて聞く ○話は最後まで聞く	小学校 ●「声のものさし」、基本話型、話し合いの仕方などの型を統一し、統一した掲示物を用意して指導に生かしていく ●低学年・中学年で指導を丁寧にきちんと行い、高学年では、話し合いの仕方を習得する
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●物語や説明文の読解を通して、互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●「聞く」は、話を聞いて頷く、首をかしげる ○いつもするのはなく、話の内容をよく聞いて行う ●「話す」は、自分の考えをもって、場に応じた声で話す ○話を聞いて、質問できるようにする	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●討論や話し合い活動において、自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、相手の意図をとらえながら聞いたりする児童	●これまでに学習した基本話型、言葉遣いなどを繰り返し確認しながら、話したり聞いたりする	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●スピーチや討論の中で、話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、話題に合わせて聞いたりしながら、自分の考えをまとめる生徒	●掲示物を活用した型をもとにして、状況に応じた自分なりの話し方を身に付ける	中学校 ●小学校で統一して指導した内容・基本話型などを踏まえて、状況に応じた話し方や自分なりの話し方を指導する
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●小説や説明文の読解において、相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●集団討論の学習などでは、他のグループの様子を批評することにより、自分たちに生かせる	
授業規律の共通理解 《小学校》	●低学年では、「人の話をきちんと聞く」ことを繰り返し指導する ●中学年・高学年では、教員の指導に素直に従うように指導する		《小中共通》 「学習の手引き」1ページの〈学習の心構え〉を、発達段階に応じて、丁寧に、根気強く指導する	
《中学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、根気強く指導する			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇文学教材などを通して、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を育てる。			
【中学校】	◇様々な教材を通して、適切に表現し理解する力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を育てる。			

2 社会				
学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①[社会]における 目指す児童・生徒像	②[社会]の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童			
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●地域社会の社会的事象から問いをもち、進んで調べて表現したり、話し合ったりする児童	●地域の社会的事象について、調べて考えたことを新聞などに分かりやすく表現したり、話し合ったりする	小学校 ●身近な地域学習(村山大島紬など)を、小学校で共通した内容にし、中学校で連携して取り組む
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●複数の資料から必要な情報を読み取り、それを根拠として考えたことを表現したり、話し合ったりする児童	●地理、歴史、公民に関する社会的事象について意見をもち、討論などを通して考える	●社会科の基本的な用語を共通理解する
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●資料を有効に活用して説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換をしたりして、根拠をもとに考察・判断した結果を自分の言葉で表現する生徒	●地理・歴史とともに、基本的な用語や地名などを習得させ、新聞などを活用して発表したり、話し合ったりする	中学校 ●小学校で学んできた歴史や地理についての知識を活用した授業場면을意識的に設定する
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●習得した知識、概念や技能を活用して考えたことを説明したり、根拠をもとに自分の考えをまとめて論述したり、議論などを通して考えを深める生徒	●地理・歴史・公民の、基本的な用語などを習得させ、資料を適切に選択し、発表したり話し合ったりする	●小学校の既習事項や副読本の情報を活用する ●身近な地域学習を、小中学校で連携して取り組む
授業規律の共通理解 《小学校》	●発言するときは、手を挙げて許可を受けてから発言する ●学習に必要な準備物を忘れない		《小中共通》 ●授業を行う上で特に大切にしていること ○先生や友達の話聞き、目と耳と心で聴き、考えて行動する ○私語をしたり、隣の人に迷惑をかけるようなことをしない	
《中学校》	●学習に必要な準備物を忘れない			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇社会的事象を正しく捉え、追究していく過程で様々な人権課題について理解する力を育てる。			
【中学校】	◇様々な人権問題を正しく理解し、偏見や差別を許さない態度を育てる。			

3 算数・数学				
学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①[算数・数学]における 目指す児童・生徒像	②[算数・数学]の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●主語と述語を用いて理由を明確にして表現できる ●自分の考えを「まず」「次に」「そして」と順序立てて表現できる ●それぞれの考えや解決方法を聞き、よいものはどれか話し合うことができる	●10の合成分解 ●たし算・ひき算のひっ算 ●ものさし ●かけ算九九の徹底	小学校 ●9年間を通じて、話形をそろえる ●出前授業を行なう
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●結論を先に述べ、理由を説明できる ●算数の用語を用いて表現できる ●それぞれの考えや解決方法の共通点や相違点に気付くことができる	●かけ算のひっ算 ●わり算の徹底 ●コンパス・分度器を用いての作図 ●小数の簡単な計算(たし算・ひき算)	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●演繹的な考え方や帰納的な考え方などを用いて筋道立てて説明することができる ●それぞれの考えや解決方法の共通点を整理できる	●小数・分数の四則計算 ●割合・速さの簡単な文章題	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●帰納、類推、演繹などの推論を用いて説明できる ●それぞれの考えや解決方法を論理的に考察し、一般性を導くことができる	●正負の計算 ●文字式の計算 ●方程式の解き方	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●帰納、類推、演繹などの推論を用いて説明し伝え合うことができる ●それぞれの考えや解決方法を論理的に考察し、一般性を導くことができる	●関数とグラフ ●証明 ●因数分解 ●平方根	
授業規律の共通理解 《小学校》	●黒板の内容をきちんと正確にノートに書く ●筆記用具…鉛筆、赤ペン		《小中共通》 ①授業前 用具の準備をする(忘れ物をしない) チャイム着席で、前の時間の復習をして待つ	
《中学校》	●黒板の内容と、先生が授業中に言った大切なこともノートに書く ●筆記用具…シャープペンシル、3色ペン、蛍光ペン(必要があれば)		②授業中 先生の説明を注意深く聞く(集中する) しっかりノートを取る(黒板の内容+大切だと思うこと)	
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇数学的な考え方を育てることを通して、見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てる。			
【中学校】	◇数学的なものの見方や考え方を通して、論理的な思考や合理的な考え方を育てる。			

4 理科				
学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔理科〕における 目指す児童・生徒像	②〔理科〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童			小学校 ●五中校区科学作品コンテスト ●五中校区理科を楽しむ〇九条 (共通の理科好きを増やす視点や ルール等)
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を 考えながら話したり、進んで話し 合ったりする児童	●身近な自然に親しみ、楽しみなが ら実験をし、自分の考えをもち、結 果をもとに客観的に比べながら話し 合う児童	●【科学的思考】比較・関係付ける力 ●【実験観察技能】基本的な実験器具の 安全な使用法の習得	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせ ながら話したり、計画的に話し合っ たりする児童	●自分の考えの根拠(既習事項や生 活経験)をはっきりともち、見通しを もって話し合ったり、結果をもとに考 察したことを話し合ったりする児童	●【科学的思考】条件制御・推論す る力 ●【実験観察技能】進学に向けて発 展的な実験器具の安全な使用法 の習得	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえ 的確に話したり、それぞれの発 言を注意して聞いたりして、自分 の考えをまとめる生徒	●目的に沿った予想を立て発言し、 それぞれ発言を聞くことによっ て、より深く思考し、考察できる生徒	●【科学的思考】結果を分析して解 釈し、表現する力 ●【科学的態度】科学的に考え、生 命を尊重し自然環境の保全に寄 与する態度 ●【実験観察技能】器具の取り扱い についての安全管理の徹底	中学校 ●出前授業(小学生を対象に中学 校で理科の授業を行う)
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し 合いが目的に沿って効果的に展開 するように話したり聞き分けたりし て、自分の考えを深める生徒	●科学的根拠をもとに予想を立て、発 言し、他者の発言を尊重しながら 効果的に話し合いを展開しさらな る探究心を深めることができる生徒		
授業規律の共通理解 《小学校》	●実験道具をきちんと扱う指導		《小中共通》 ●9年間で安全に実験道具を使用することの徹底	
《中学校》	●小学校の既習事項を利用した発展的な実験道具の使用法の習得			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇問題解決能力や科学的な見方・考え方を養い、自然を愛する豊かな心情や生命を尊重する態度を育てる。			
【中学校】	◇問題解決能力や科学的なものの見方や考え方を養い、自然を愛する豊かな心情と真理を探究する力を育てる。			

5 音楽				
学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔音楽〕における 目指す児童・生徒像	②〔音楽〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●友達の音や声、話をしっかりきける児童	●ペア学習を取り入れながら、音楽の授業に取り組む	小学校 ●部活動での連携 小学校5年以上を対象に、中学校の吹奏楽部と合同で課外活動する ●合唱コンクール合同開催 中学校で行う合唱コンクールに小学生も参加する
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を 考えながら話したり、進んで話し 合ったりする児童	●音楽を学ぶための基礎・基本を身に 付け、楽しく表現できる児童	●ペアと少人数学習を取り入れなが ら、音楽の授業に取り組む	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせ ながら話したり、計画的に話し合っ たりする児童	●客観的に周囲の音や声を聴き、表 現に生かせる児童	●グループ学習やアンサンブルを 取り入れながら音楽の授業に取り組 む	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉え 的確に話したり、それぞれの発 言を注意して聞いたりして、自分 の考えをまとめる生徒	●中学校の授業に興味や関心をも ち、進んで活動に取り組める生徒	●グループ学習やアンサンブルを、 生徒が主体的に活動するように取 り組む	中学校 ●小学校と中学校との距離的に離 れていて難しい場合は、メディア媒 体に演奏会やコンクールなどを記 録し、お互いにデータを交換し鑑賞 する。中学生の声の美しさに刺激 を受けたり、将来にイメージや憧れ をもったりすることができる ●小学校から中学校へと進級する 時点で、音楽に対する「憧れ」「期 待感」をもたせ引き継ぐことが、何 よりも大切である
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し 合いが目的に沿って効果的に展開 するように話したり聞き分けたりし て、自分の考えを深める生徒	●感性や技能をもとに、創造的に活 動できる生徒	●リーダーを中心に、グループや全 体練習を創造的に活動するように 取り組む	
授業規律の共通理解 《小学校》	●チャイム着席のため、担任引率での教室移動の徹底 ●教室に入ったら挨拶をする ●使用したものはきちんと片付ける		《小中共通》 ●チャイム着席の徹底 ●教室での挨拶の徹底 ●授業準備の徹底(忘れ物をなくす)	
《中学校》	●チャイム着席の徹底 ●挨拶の徹底 ●中学校生活でのやり方を改めて指導していく			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇表現や観賞の活動を通して音楽性の基礎を培うとともに音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養う。			
【中学校】	◇合唱等を通して、豊かな心情を育てるとともに、美しいものに感動する感性を育て豊かな情操を養う。			

6 図画工作・美術				
学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔図画工作・美術〕における目指す児童・生徒像	②〔図画工作・美術〕の習得内容についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●自分の思いについて考えたり表したりする児童	●作品の内容について話すことができる ●自分の作品に題名を付けることができる	小学校 ●作品発表会 ○低学年：自分の作品について発表する ○中学年：作品についての感想を伝え合う ○高学年：ワークシートを用いた鑑賞活動を行う 【例】手紙カード、いいねカード、ふせんなど 《共通》 市内の作品展(小・中)の作品展を見合い、系統性・連続性を意識した指導に生かす ●意見交換会 ○自分の作品の意図について批評し合うことができる
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●自分の作品と友達の作品の思いを比べ、その違いや共通点を考え表現する児童	●作品の良いところを見つけ伝えることができる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●作品の鑑賞を通して自分の思いや考えを広げ、意図やねらいをもって表現する児童	●友達の作品の良いところを伝えたり、自分の作品に生かすことができる	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●制作のねらいに沿って友達と意見交換しながら自分の意図を表現する生徒	●制作や鑑賞の場面で友達と意見交換することができる	中学校 ●意見交換会 ○自分の作品の意図について批評し合うことができる
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●友達の考えや意見を受容しながら自分の表現を深める生徒	●友達と意見交換しながら互いの作品を高め合うことができる	
授業規律の共通理解	《小学校》 ●忘れ物をしない ●人やものを大切にすること ●人の話を聴く ●片付けをきちんとする ●作品を大事にする	《中学校》 ●チャイム着席を守る ●忘れ物をしない ●人やものを大切にすること ●人の話を聴く ●片付けをきちんとする ●作品を大事にする	《小中共通》 ●忘れ物をしない ●人やものを大切にすること ●人の話を聴く ●片付けをきちんとすること ●作品を大事にする	
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇造形的な創造活動を通して表現の楽しさ喜びを味わわせ、美しさ愛する豊かな感性を育てる。			
【中学校】	◇表現活動を通して、美しさ愛する豊かな感性を育てる。			

7 保健体育（体育）				
学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔保健体育（体育）〕における目指す児童・生徒像	②〔保健体育（体育）〕の習得内容についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●進んで自分たちの活動の仕方やルールを話し合い工夫しようとする児童	●1年生では、具体的な技の習得より器具を使用した遊びを取り入れている ●技術的なことよりも、感覚的に運動に親しむことをねらっている	小学校 ●毎時間の流れや集団行動など、9年間を通して同じ指導を心がけていく ●小学校から中学校、中学校から小学校へのお出前授業の実践
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●進んで活動の振り返りを話し合い、自らの力に応じて活動を工夫して運動の楽しさを広げる児童	●3・4年生では、低学年で親しんだものを高学年の運動につなげるということを意識させて取り組んでいる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●ルールや役割の話し合いを大切に、みんなのまとまりをつくることのできる児童	●自分の立場や意図を把握しながら話し合いやアドバイスができるようになっている ●具体的には、作戦・ルールの話し合いやお互いにアドバイスをし合うなど(ルールは能力や実態に合わせて工夫している)	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●自己の能力を理解し、基礎的な技能や内容を身に付けようとする生徒 ●練習等を通して、ペア・グループからのアドバイスで課題を見付け、解決を図っていく生徒	●各自やペア・グループの仲間の能力や実態を理解し、それぞれに合った練習方法を選択させている ●チェックするポイントを提示し、お互いでアドバイスをし合う活動を行っている	中学校 ●種目ごとに、ある程度の到達ラインを提示・把握する
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●積極的に運動に親しみ、集団としての規律を守ることのできる生徒 ●グループ活動において相手の立場や考えを尊重しながら話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●ルールについては、公式なものや簡易なものを含めて取り組んでいる ●グループでの作戦の話し合いや、お互いをチェックし合うなどの工夫で話し合いを取り入れている	
授業規律の共通理解	《小学校》 ●集合整列は、太鼓やサインで行っている ●体育時の服装は、夏は体操着短パンで共通である 冬場については、原則長袖を脱がせて行すが、気候や内容により長袖を着る場	《中学校》 ●集合整列は、笛や声で行っている ●体育時の服装は、4月から11月は体操着短パンで共通だが、12月以降は気候によってジャージを着用する場合もある 五中内で統一して守らせている	《小中共通》 ●集合整列時、静かにさせて説明などを聞かせる ●準備運動や補強運動は、各学校で独自のものを行っている ●中学校では、授業の始まりで3学年共通ラジオ体操を実施 ●授業は小学校は男女共習、中学校では男女別習が基本 ●中学校では、毎年始め体力テストがあり、男子1500m、女子1000mの持久走がある ●小学校では、体力向上のため、学校それぞれで5分間走や1200m走(残堀川の周回コース)を実施 ●ペースを学習するために周回を増やすことで走りを変えるよう教えている	
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇運動の楽しさを味わわせ、健康でたくましい心身を育てるとともに、協力的な励まし合う態度を育てる。			
【中学校】	◇自己の健康の保持増進や安全の確保に努め、運動を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの態度を育てる。			

8 保健体育（保健）

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔保健体育（保健）〕における 目指す児童・生徒像	②〔保健体育（保健）〕の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童	●健康な生活を送るための行動を実践できる	小学校 ●保健室利用のルールを統一する ●健康診断等の結果より、五中校区の健康課題を出し合い、分析と対策を話し合う ●小学校で実践している保健指導や委員会活動の内、中学校でも実践できるものを継続または発展させて実践する
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
保健室利用規律の共通理解	●保健室入室時は、自分のクラス、氏名を言ってから入室する ●なぜ入室したのか用件を言う ○「いつ、どこで、何をしています、どうなった、だから××してほしい」 ●付き添いは入室しない	《小中共通》 ●保護者の意識を高める（保護者会で話をしたり、学校医に依頼して保護者を対象とした講演を行う） ●「歯科（むし歯）」「肥満」の現状を改善させる ●健康診断後の医療機関受診勧告は、数回行う ●諦めずに情報を発信してアピールをし続ける		
《小学校》	●保健室入室する際は、授業の先生や学年の先生に許可をもらう ●自分のクラス、氏名、なぜ入室したのか用件を言う ○「いつ、どこで、何をしています、どうなった、だから××してほしい」 ●保健室での休養は原則1時間			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇体の変化や思春期の心の変化は誰にでも起きること理解し、自分らしく生きていこうとする心情を育てる。			
【中学校】	◇個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に渡って自らの健康を適切に管理し、改善していこうとする態度を育てる。			

9 技術・家庭

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔技術・家庭〕における 目指す児童・生徒像	②〔技術・家庭〕の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●計画に沿って友達と協力しながら活動する児童	●家庭での経験が技能差に現れる ●衣食住に関する基礎的な知識・技能を体験活動を通して身に付ける ●学年が上がるにつれ時数は減るが、教える内容は増える	小学校 ①親ボランティアを巻き込む ②展示会、校内展を、教員が見合う
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童			
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童			
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒			
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒			
授業規律の共通理解	●安全面に関して、基本的な用具の取り扱いを徹底する	《小中共通》 ①『安全に配慮した指導』 ②忘れ物が多いので、発達段階に応じた方法で忘れ物をさせない指導を工夫する		
《小学校》	●限られた時間内に、効率よく準備、片付けが行えるように指導する			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な知識・技能を身に付けさせ、生活をよりよくしようとする態度を育てる。			
【中学校】	◇情報モラルについて考え、行動できる態度を養う。また、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする態度を育てる。			

10 外国語活動・英語

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔外国語活動・英語〕における 目指す児童・生徒像	②〔外国語活動・英語〕の習得内容 についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●英語に慣れ親しむ	●担任、英語支援員、ALTが連携する ●積極的にコミュニケーションをとらせるよう、楽しく身近な内容を多く取り入れる工夫をする	小学校 ●ゲームなどを通して英語に親しむ ●天気、色、形など、身の回りのことを表現できるようにする。ローマ字に触れる ●自分のことを伝え、友達からの情報を聞く活動を行う ●中学校で英単語を覚える助けとなるよう、ローマ字に触れる回数を増やす
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●英語に慣れ親しみ、コミュニケーションをとろうとする	●担任、英語支援員、ALTが連携する ●活動を多く取り入れる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションをとろうとする	●文部科学省のHi, Friends1/2を使用している ●アルファベットを使った学習に取り組んでいる	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●簡単な英文を読んだり書いたりできる ●簡単な英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする	●小学校で行っているもの＋αで、書く活動が加わる ●文法的な知識も身に付けさせるようにする	中学校 ●文部科学省の「Hi, Friends1/2」で行っているインタビュー・スピーキング活動を発展させる ●文部科学省の「Hi, Friends1/2」で行っている活動を確認し、ライティング活動につなげる
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●4技能をバランスよく身に付け、英語で積極的にコミュニケーションをとろうとする	●英語で自分の考えを伝えることができるように、コミュニケーション活動を取り入れる ●教科書の英文に加え、都立高校の入試問題の長文などにも触れさせ、「読む」力を付けさせる	
授業規律の共通理解 《小学校》	①挨拶を大切にする ②話を聞く時は、相手の方を向いて、しゃべらず聞く ③チャイム着席		《小中共通》 ①私語、勝手な立ち歩きをさせない ②教員やALTの英語、話を集中して聞く ③必要なものを持ってくる。必要のないものは机に出さない ④教員の指示に従って、正しく活動する	
《中学校》	①必要な道具を持ってこさせる ②私語をさせない ③立ち歩かせない ④指示に従って活動させる			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇外国語を通じて、言葉や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。			
【中学校】	◇英語の理解や表現を通して、国際的なものの見方や考え方や感じ方を育て、異文化の理解と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。			

11 道徳

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔道徳〕における 目指す児童・生徒像	②〔道徳〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●自分の考えや気持ちを言葉で伝えられる児童 ●相手の思っていることを理解できる児童	●教材の世界に没入り、自分の考えや気持ちを表現する	小学校 ●道徳の授業や道徳地区公開講座を相互に参観できるような体制作り ●小中の児童・生徒の実態や発達段階の理解を深めるための、道徳教育推進教師による、指導案や教材等の相互研修や意見交換会の実施
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●自分の意見と相手の意見を比べて、自他の感じ方や考え方について深く考えられる児童	●友達の考えや気持ちを聞き、自分の考えを深める ●価値について深く考え、自分自身を振り返る	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●互いの意見のよさや課題に気づき、伝え合う活動を通して自他のよりよい生き方について考えを深められる児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●相手や目的を意識して自分の意見を述べたり、相手の意見を取り入れたりしながら自他のよりよい生き方について考えを深められる生徒	●自己を他の人との関わりの中で捉え、望ましい人間関係の育成を図り、社会人としての適切な道徳性を身に付ける	中学校 ●道徳教科化に向け、小中の一貫性をもった教材開発や指導体制の調整
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●多様な考え方を認めながら話し合い、道徳的価値について理解を深め、自分で考えて判断でき、道徳的実践力を高める生徒		
授業規律の共通理解 《小学校》	●授業の準備 ●挨拶の徹底 ●頭 ●提出物の徹底 ●話をする人の方を向く ●心 ●ノートの取り方 ●話し合いのルール ●勇気		《小中共通》 ●挨拶 ●返事 ●姿勢 ●話し方、発言の仕方 ●集中	
《中学校》	●授業の準備 ●思考 ●提出物の徹底 ●感動 ●ノートの取り方 ●勇気 ●話し合いのルール			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇個人や集団の良い面を伸ばし思いやりの心や愛情をもって接する豊かな心情や態度を育む。			
【中学校】	◇自らを律し、偏見や差別を見極める力や共に生きていこうとする道徳的実践力を養う。			

12 特別活動・児童会・生徒会

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔特別活動(児童会・生徒会)〕における目指す児童・生徒像	②〔特別活動(児童会・生徒会)〕の習得内容についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●学級の課題について自分の考えをもち、表現できる児童	●自分の考えをもち、話し合いに積極的に取り組もうとする態度を育てる ●よりよい学級、学校作りに向けて考え、判断し、実践につなげる ●司会グループの仕事の内容や話し合いの進め方を理解させる	●五中サミットの実践 ○児童会、生徒会の代表者が集まり、自校の課題と成果を発表し合う ●小中連携の取り組み ○あいさつ運動及びベクトルキャップ回収運動を五中校区の各小学校で小学生と五中生が協力して行う ○読み聞かせ活動を五中校区の各小学校で行う
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●学級・学年の課題について自分の考えを進んで発言し、みんなと話し合える児童		
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●学級・学年・学校の課題について自分の考えをもち、友達と話し合いながら、よりよい考えをみんなでつくり出せる児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●お互いの個性や持ち味を發揮し、思いや気付きを伝え合いながら、積極的に関わり合える生徒	●望ましい集団活動を通して、よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●お互いの存在を尊重し、多様な考えを練り合う中で、意欲的に関わり高め合える生徒		
授業規律の共通理解 《小学校》	●意見を言うときのルールや相手を思いやる発言の仕方など、一つ一つ丁寧な指導を心懸け、中学校につながるような先を見通した指導をする		《小中共通》 ●「学習の手引き」を踏まえ、発達段階に応じて、一つ一つ丁寧に、根気強く指導する	
《中学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、さらに積極的に発言することやお互いを尊重する伝え方などを根気強く指導する			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇望ましい集団活動を通して助け合い認め合う人間関係と集団の中で自己を生かす能力を育てる。			
【中学校】	◇望ましい集団生活を通して信頼関係を築き、互いの良さを認め、助け合ったり協力し合ったりできる自主的・実践的な態度を育てる。			

13 読書活動

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔読書活動〕における目指す児童・生徒像	②〔読書活動〕の習得内容についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●話の筋の楽しさや、構成や表現の面白さに興味をもって読む児童		【読書に取り組む期間の取組】 ●お勤めの本紹介や読み聞かせの放送、紙芝居などを実施する(図書委員会) ●読み終えた本の題名を用紙に記録し、木に葉を増やしたり、魚などの形に見立てたりして掲示する ●放課後や昼休みを活用した読書時間の確保する 【ブックコマースなどの取組】 ●お勤め本のPOPを作成して掲示する(図書委員会・毎月更新) ●ブックコマースを讀書旬間中に作成させ、掲示する(全学年・年間1回程度) ●ディスプレイに讀書感想文の推薦図書を並べて掲示する ●調べ学習につなげるためのブックトークや、言葉の力や表現力を養うピリオパトルなどを実施する 【年間を通じた取組】 ●読書量を確保するため、「図書室の本を50冊読む」などを設定する(全学年) ●「読書量チャンピオン」を認定する(小学校・各学年) ●朝読書の時間、夏休み宿題として市内図書館でカードを作り図書を借りる課題を設ける(小学校・低学年) ●お勤めの本を「相手に面白さが伝わる」ように読み聞かせたり、ポスターセッションをしたりする課題を設ける 【今後の課題】 ●市内の図書館を利用する子供が少ないことから、「図書館探検」を町探検の学習の中に盛り込む ●中学生の小学生への読み聞かせなどの讀書活動を通して、中学生の讀書への取組や讀書の楽しさを広げさせる
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●物語の展開や描写、説明や資料について、感想や意見をもちながら読む児童	●読書の楽しさを味わわせる ●読書の習慣を身に付けさせる ●目的をもった読書をさせる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●物語の展開や描写、説明や資料について、より詳細な感想や根拠を伴った意見をもちながら読む児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●読書活動とおして、登場人物の心情を察したり、作者の意図を理解したりして、自己の意見をもつ生徒	●読み味わう視点を広げ、心を満たす読書をさせる	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●読書活動とおして、登場人物の心情を察したり、作者の意図を理解したりして、自己の意見を発表する生徒		
授業規律の共通理解 《小学校》	●丁寧な指導を心掛け、中学校につながるような先を見通した指導をする		《小中共通》 ●「学習の手引き」を踏まえ、発達段階に応じて、丁寧に、根気強く指導する	
《中学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、根気強く指導する			
人権教育を通じて育てたい資質・能力				
【小学校】	◇読書の楽しさに親しむ機会の充実を進め、表現力や創造力を高め、豊かな感性を育てる。			
【中学校】	◇豊かな読書活動を推進し、望ましい読書習慣を身に付けさせ、読書を通して豊かな人間性を育てる。			

五中校区シンボルマーク（表紙）

縦に流れる4本の帯は、二小、八小、十小、五中に4つの学校を表しています。一つ一つの流れは細いけれど、4本集まれば大きな川となり、それが大海原に注ぎさらに大きく発展する様を表しています。

五中校区 家庭教育7カ条

① あいさつのできる子供に育てましょう。

親が手本となり進んであいさつをして、家庭・地域に広げましょう。

- ・おはようございます。
- ・いただきます。
- ・ありがとうございます。
- ・こんにちは。
- ・ごちそうさま。
- ・ごめんなさい。
- ・こんばんは。
- ・いってきます。
- ・すみません。
- ・さようなら。
- ・いってらっしゃい。
- ・しつれいします。
- ・おやすみなさい。
- ・ただいま。
- ・おかえりなさい。



② 心身ともに健康な子供に育てましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」で元気よく一日をスタートさせましょう。

- ・親の都合で子供の生活のリズムを崩さないようにしましょう。
- ・家族みんなで早寝早起きの習慣を付けるようにしましょう。
- ・朝ごはんを毎日しっかり食べさせましょう。



③ 時間を守る子供に育てましょう。

生活のリズムは、子供の健やかな成長のためのエネルギーです。一日の生活時間を決めさせましょう。

- ・起きる時刻
- ・家に帰る時刻
- ・テレビを見る時間
- ・寝る時刻
- ・勉強する時間
- ・ゲームをする時間 等



④ お手伝い好きな子供に育てましょう。

お手伝いで「人の役に立つ喜び」を教えましょう。

- ・まずは簡単な家事から始めましょう。
- ・家事は家族みんなで分担しましょう。
- ・うまくできたらきちんとほめましょう。
- ・いろいろな家事をやらせてみましょう。
- ・罰としてお手伝いをさせるのはやめましょう。



⑤ 身だしなみを整える子供に育てましょう。

親が手本となり、清潔感のある身だしなみを教えましょう。

- ・毎日入浴させ、清潔な衣服を着させましょう。
- ・毎日洗髪させ、清潔感のある頭髪をさせましょう。
- ・毎食後、親子で一緒に歯磨きをしましょう。
- ・毎週、親子で一緒に爪を切りましょう。



⑥ 善悪の区別ができる子供に育てましょう。

親が手本となり、社会のルール、善悪の区別を教えましょう。

- ・失敗や過ちを認め謝れる素直な心を育てましょう。
- ・嘘や偽りのない誠実な心を育てましょう。
- ・正しい言葉遣いを教えましょう。
- ・善悪の価値基準を明確に教えましょう。
- ・ボランティア活動に親子で参加しましょう。



⑦ 子供が安心して成長できる環境を作りましょう。

親が子供に関心を持ち、何でも話せる家庭環境をつくりましょう。

- ・毎日の宿題とお便りをチェックしましょう。
- ・今日あったことを親子で話し合しましょう。
- ・携帯電話、インターネットはルールを作って守らせましょう。



五中校区学校運営協議会（第二小学校・第八小学校・第十小学校・第五中学校）